

主催：立命館大学国際言語文化研究所 ヴァナキュラー文化研究会

後援：オーストラリア・ニュージーランド文学会

# クリストス・チョルカス『スラップ』： オーストラリア、多文化社会のゆくえ

日時： 1月12日（月・祝日）16:00-17:30

場所： 立命館大学衣笠キャンパス 学而館 第3研究会室

（参加費・事前申し込み不要 講演は英語で行われますが、簡単な通訳がつきます。）

数十年にわたって先進国によって唱道され、また主要な政策として導入されてきた多文化主義が現在、岐路に立たされています。社会が急速に多様化する中、文化の共存をよしとする多文化主義に対して疑義を投げかける声や行動が受け入れ側の社会、移民社会の双方から目立つようになってきました。日本においても現実としての多文化状況が進んでいくことが予想される中で、私たちは将来に向けてどのような社会をイメージしていけばよいのでしょうか。

このたび、オーストラリアを代表する人気作家クリストス・チョルカス氏のベストセラー小説『スラップ』日本語訳が刊行されます。出版記念として実現したチョルカス氏の来日に合わせ、公開リーディング／講演会を開催いたします。近年刺激的な作品が多数生み出されながら、日本ではいまだ紹介の少ないオーストラリア文学の一端にふれる、また多文化社会の先行者であるオーストラリアの現在について知ることのできる貴重な機会です。是非、足をお運びください。

## 『スラップ』とは？

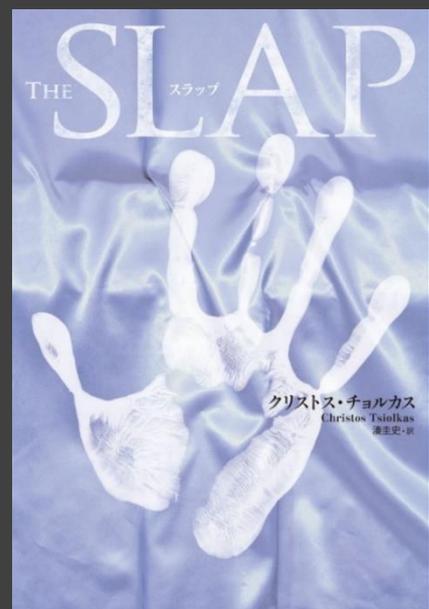
メルボルン郊外のある屋下がりに、子どもの頬をはたく平手打ち（スラップ）の音が突如なり響く。一見して平和な都市郊外の生活に潜む屈折した人間関係、現代人の心に巣くう闇や不安を赤裸々に描き出し、賛否両論の渦を巻きおこしたオーストラリア随一の人気作家の問題作。

友人同士のバーベキュー・パーティーで、傍若無人にふるまう他人の子どもについ手が出てしまう。そんな些細な「事件」をきっかけに、関係者それぞれのふだんは奥底に秘めている他者への偏見や怒り、愛と欲望、失われた過去への郷愁や未来への不安が噴出する。まるで世界の縮図のような多文化社会・オーストラリアで、出自、世代、性別、信条、生活レベルを異にする多彩な8名の登場人物の視点から語られる、「日常」を内側から揺すぶる複雑な陰影に富んだ感情のドラマ。

現代企画室「オーストラリア文学傑作選」第3巻。

（クリストス・チョルカス／著 湊圭史／訳

2014年12月刊行 定価2500円＋税4-6並製・528頁 ISBN978-4-7738-1426-2 C0097)



## クリストス・チョルカス (Christos Tsiolkas)

1965年、オーストラリア、ヴィクトリア州メルボルンにギリシャ系2世として生まれる。第1長編『ローディド』(The Loaded, 1995)は、10代の同性愛者のドラッグや性的体験を赤裸々に描いて、オーストラリアのグランジ文学の代表作とされる。第3長編『死せるヨーロッパ』(Dead Europe, 2005)は、ゴシック・ホラーの仕掛けを用いてヨーロッパ近現代史のねじれに光を当てる意欲作だが、作中に色濃く反映された歴史上および現在のヨーロッパにおけるユダヤ人問題によって論争を巻き起こした。第4作『スラップ』(The Slap, 2008)も賛否両論を集めながらベストセラーとなり、TVドラマ版はイギリス、アメリカなどの英語圏のみならず全世界で放映される。最新作『バラクーダ』(Barracuda, 2013)では、ギリシャ系の水泳選手を主人公に現代のスポーツ文化の暗部を描いている。



### 立命館大学 ヴァナキュラー文化研究会 今後の講演会予定

1月10日(土) 13:00-15:00 立命館大学衣笠キャンパス 敬学館 262 教室

「フォークテイルの面白さ：『赤ずきん』の真実を読む」

ウェルズ恵子(立命館大学文学部教授)

3月26日(木) 13:00-15:00 立命館大学衣笠キャンパス 末川記念会館第3会議室

「生きている伝統：トラベラーズのスコティッシュ・バラッド(物語歌)」

トーマス・マケイン(アバディーン大学エルフィンストーン研究所大学院所長)

### 現代企画室「オーストラリア現代文学傑作選」について

「単一民族・単一文化」の白豪主義から、多文化・多民族の現実に目を向け、「差異」のアイデンティティへの転換をはかるオーストラリア。先住民や世界各地からの移民と共存する社会を目指す動きは、多様な背景に彩られた、豊穡な文学的成果にいま結実しつつあります。「オーストラリア現代文学傑作選」は、オーストラリアに出自をもつ、あるいは同国で活動する同時代の作家の文学作品を、10年をかけて1年1作のペースで紹介していくシリーズです。

既刊 デイヴィッド・マルーフ著『異境』武舎るみ訳、2012年刊行、定価2400円+税、ISBN978-4-7738-1206-0 C0097

ティム・ウィントン著『プレス(呼吸)』佐和田敬司訳、2013年刊行、定価2400円+税、ISBN978-4-7738-1317-3 C0097  
以降も、Kate Grenville, *The Secret River* (2005)など注目作が刊行予定。ご期待ください。

「オーストラリア現代文学選」は、駐日オーストラリア大使館・豪日交流基金の支援を受けて刊行しています。



お問い合わせ先：立命館大学 国際言語文化研究所 Tel: 075-465-8164 / Fax: 075-465-8245

Email: genbun@st.ritsume.ac.jp